

## 帳簿(参考様式)の使用方法について

### 【参考様式について】

この参考様式は、居住サポート住宅について認定事業者による作成・備え付けが義務付けられている「帳簿」のひな形として作成したものであり、これ以外の形式で帳簿を作成することも可能です。

### 【記入例について】

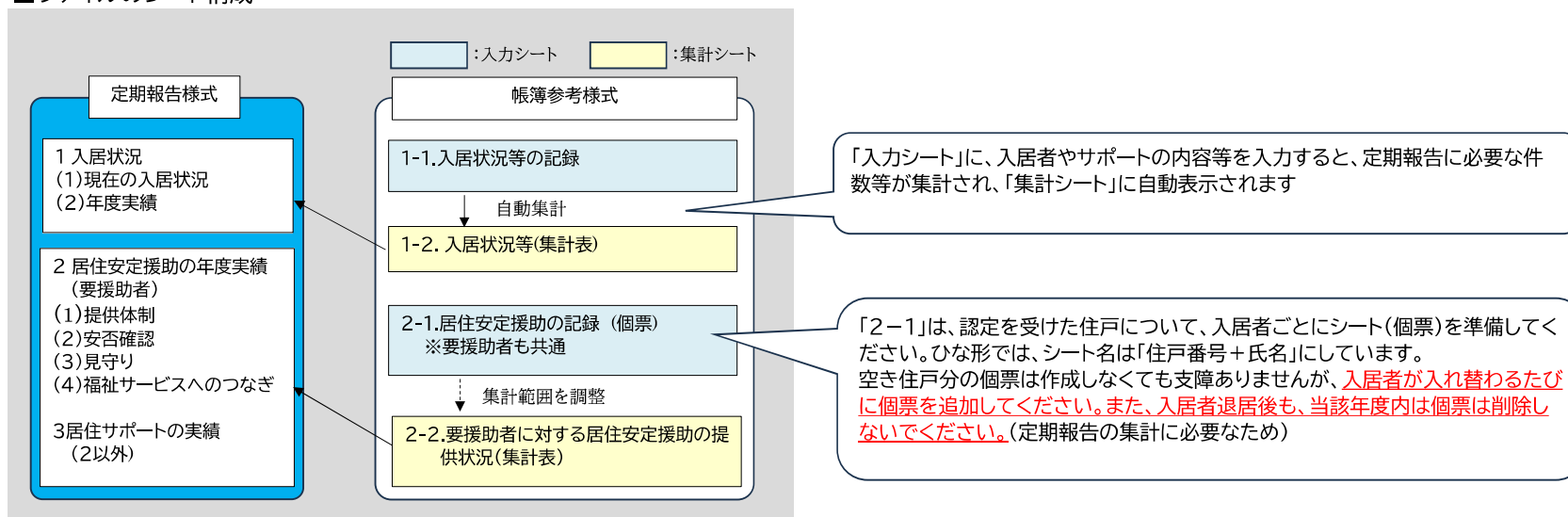
以下のケースについて、記入例(緑字)を記載しています。

- ・居住サポート住宅認定戸数:7戸(うち、専用住宅:2戸、非専用住宅:5戸で認定。101、103、104、201、202、203、204)
- ・運用開始時は101と103を専用住宅として運用。その後、101に要援助者以外の者が入居したため、専用住宅の位置を変更し、101は非専用住宅として、103と104を専用住宅として運用。

## 手順① ファイル内に、必要なシートを準備する

- 以下図のとおり、参考様式のEXCELファイルは、「1-1」～「2-2」の4種類のシートで構成されています。
- このうち、認定事業者において事業の実施状況について入力が必要となるもの(入力シート)は、シート「1-1」「2-1」の2種類です。シート「1-2」「2-2」は、入力された内容をもとに、定期報告において必要な情報が自動集計されるシート(集計シート)です。(ただし、2-2のつなぎ先は入力が必要です)
- また、シート「2-1」のみ、居住サポート住宅として認定を受けた住戸について、入居者ごとにシートが必要になります。ひな型では7戸分用意していますが、必要分をコピーして使用してください。
- サポート住宅が複数棟ある場合は、住戸番号を棟名+住戸番号にする等、適宜入力してください。(例:1-101、2-101)

## ■ファイルのシート構成





手順② 帳簿を作成する

(2)シート「2-1.居住安定援助の記録」の作成

○手順①にも記載のとおり、**入居者ごとにシートを作成**し、見出しが水色の箇所に、必要事項を入力してください。**要援助者に限らず、居住サポートを提供した住宅確保要配慮者については全員分の作成が必要です。**

○シート名を「住戸番号+氏名(シート「1-1」と同じ表記)」にすると、見出しがオレンジ色の箇所は自動入力されます。

住戸番号・氏名  
シート「1-1」及びシート名と同じ表記としてください。

訪問の頻度は入力が必要

2-1.居住安定援助の記録(個票)

■入居者情報

住戸番号・氏名	101	○○	要援助者	○
---------	-----	----	------	---

緑字：入力

青字：自動表示

※要援助者以外(詳細な件数集計はしない)も個票は共通

サポート内容	安否確認	機器	見守り	訪問	月1回	つなぎ	○	その他	通院付添
--------	------	----	-----	----	-----	-----	---	-----	------

年月日	安否確認(異常検知の対応記録)						見守り (実施した日に○)	福祉サービスへのつなぎ						その他の 居住 サポート	対応内容等の記録	対応者
	異常検知	異常検知後						自治体		自治体の相談機関		民間事業者等				
		入居者異常 なし	入居者異常 あり	うち死亡	対応あり	対応なし		つなぎ先	○:新規 ●:継続	つなぎ先	○:新規 ●:継続	つなぎ先	○:新規 ●:継続			
2025/10/2	○	○												訪問の際、介護サービスの相談あり。地域包括支援センターに連絡	△△	
2025/10/5						○			地域包括	○				訪問の際、地域包括支援センターにつなぎ、介護保険外サービスについて相談	△△	
2025/11/5						○								訪問の際、宅配弁当の利用を確認。心身・生活状況に変化なし	△△	
2025/11/6												○	○○内科への通院付添	△△		
2025/12/5	○		○		○									19時異常検知。20時駆け付け、室内で倒れていたため、救急搬送し、一命をとりとめる。しばらく入院。	××	
2026/1/6						○								退院後の自宅生活が困難なため、有料老人ホームへの転居が決定。月末退居となる。	△△	
2026/1/15											○×センター	○		家財処分の事業者を紹介	△△	
2026/1/31												○	有料老人ホーム○へ転居(引越支援)	△△		
合計	2	1	1	0	1	0	3	0		1		1				

↑異常検知回数

↑新規連絡先につないだ場合は○、継続は●とし、○をカウント

合計欄(自動入力)

シート「2-2」に自動表示する、定期報告に使用する集計行です。**この行は削除しないでください。**また、行を追加して入力した場合は適宜集計範囲を確認ください。なお、要援助者の行のみが合計され、要援助者以外の行は集計されません。

行が不足する場合は、集計行との間に行を挿入してください。(書式はコピーされます)

手順③ 集計する

(1)シート「1-2.入居状況等(集計表)」の作成

○(1)認定内容に、認定を受けた計画における居住サポート住宅の戸数及びそのうち専用住宅の戸数を入力してください。

○(2)に集計を行う時点の日付を入力してください。

年月日を年度末にすると、定期報告に記載する項目を集計することが可能です。

年月日を現在にすると、認定内容と提供状況が合致するか(適切に運用されているか)を「運用チェック」欄から確認できます。

1-2.入居状況等(集計表)

■全体の種別戸数

緑字:入力 黒字:自動表示

(1)認定内容

a.認定住宅(サボ住)	7	b.うち専用住宅	2
-------------	---	----------	---

定期報告項目  
専用住宅:定期報告様式の専用賃貸住宅  
認定住宅(サボ住):居住サポート住宅

(2) 2026/3/31 現在の住宅戸数と入居戸数

提供住宅	①認定住宅戸数	7	②うち専用住宅	2
------	---------	---	---------	---

入居戸数

③サボ住入居	6	④うち要配慮者	5	⑤うち要援助者	3	⑥空き戸数①-③	1
--------	---	---------	---	---------	---	----------	---

運用チェック(認定内容と提供状況の確認)

サボ住提供チェック(①=aかどうか)	OK	専用提供チェック(②=bかどうか)	OK	専用住宅チェック②≤⑤+⑥	OK
--------------------	----	-------------------	----	---------------	----

(3)定期報告内容(入居状況)

●現在の入居状況

認定住宅戸数①	うち専用住宅戸数②	認定住宅入居戸数③	うち住宅確保要配慮者の入居戸数④	うち要援助者の入居戸数⑤	空き戸数⑥=①-③	専用住宅チェック②≤④+⑤
7	2	6	5	3	1	可

●年度実績

認定住宅入居戸数(累計)	うち住宅確保要配慮者の入居戸数(累計)	うち要援助者の入居戸数(累計)
8	7	5

	低額所得者	被災者	高齢者	障害者	子育て	その他要配慮者
住宅確保要配慮者の入居戸数(累計)の属性別内訳	1	0	5	2	0	0
うち要援助者の入居戸数(累計)の属性別内訳	1	0	4	1	0	0

・認定を受けた計画におけるサポート住宅の戸数  
・上記のうち専用住宅の戸数  
・集計したい時点  
を入力

シート「1-1」の合計欄から自動入力



手順④ 定期報告を行う

- 手順①～③により、シート「定期報告様式」に集計結果が反映されます。
- 黄色セルの数字を定期報告時に活用することが可能です。

Ⅲ 居住安定援助賃貸住宅事業の実施状況

緑字:入力 黒字:自動表示

1 認定住宅の入居状況

(1) 現在の状況 (2025年度末)

認定住宅戸数 ①	うち専用賃貸 住宅戸数②	認定住宅 入居戸数 (※1) ③	うち住宅確保 要配慮者の 入居戸数 ④	うち要援助者 (※2) の入居戸数 ⑤	空き戸数 ⑥=①-③	専用賃貸住宅の 供給状況 ②≤⑤+⑥	専用賃貸住宅の 供給状況 不可の場合の 理由等
7	2	6	5	3	1	可	

(※1) 住宅確保要配慮者以外の者が入居する認定住宅の戸数を含む。

(※2) 「要援助者」とは、国土交通省・厚生労働省関係住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律施行規則第14号柱書に規定する者のことをいう。

(2) 年度実績 (2025年度)

認定住宅入居戸数 (累計)	うち住宅確保要配慮者の 入居戸数 (累計)	うち要援助者の 入居戸数 (累計)
8	7	5

(注) 一の戸に入居する住宅確保要配慮者が複数の属性に該当する場合は、当該住宅確保要配慮者が該当する属性全てに計上する。  
(例: 高齢者かつ障害者である者が入居した場合は、高齢者に1、障害者に1を計上する。)

一の戸に入居する世帯に、属性の異なる複数の住宅確保要配慮者が含まれる場合は、当該世帯の住宅確保要配慮者が該当する属性全てに計上する。(例: 一の戸に、高齢者である親と障害者である子が入居した場合は、高齢者に1、障害者に1を計上)

	低額所得者	被災者 (災害から 3年以内)	高齢者	障害者	子どもを養育 している者	その他住宅確保 要配慮者
住宅確保要配慮者の 入居戸数 (累計) の 属性別内訳	1	0	5	2	0	0
うち要援助者の 入居戸数 (累計) の 属性別内訳	1	0	4	1	0	0

(注) 一の戸に入居する住宅確保要配慮者が複数の属性に該当する場合は、当該住宅確保要配慮者が該当する属性全てに計上する。  
(例: 高齢者かつ障害者である者が入居した場合は、高齢者に1、障害者に1を計上する。)

一の戸に入居する世帯に、属性の異なる複数の住宅確保要配慮者が含まれる場合は、当該世帯の住宅確保要配慮者が該当する属性全てに計上する。(例: 一の戸に、高齢者である親と障害者である子が入居した場合は、高齢者に1、障害者に1を計上)

2 要援助者に対する居住安定援助(安否確認・見守り・福祉サービスへのつなぎ)の年度実績(年度)

(1) 要援助者に対する居住安定援助(安否確認・見守り・福祉サービスへのつなぎ)の提供体制

外部委託の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
委託の内容	一部の要援助者(1名)に対する訪問サービス事業者による見守り	
外部委託契約書の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
外部委託の特記事項		

(2) 要援助者に提供した安否確認(1日に1回以上)の実施状況

実施方法 (該当するもの すべて)	<input checked="" type="checkbox"/> 通信機器	<input type="checkbox"/> 訪問	<input checked="" type="checkbox"/> 電話	
	<input type="checkbox"/> SNS	<input type="checkbox"/> その他		
延べ異常発生回数	3回			
異常発生後の対応結果	入居者の状況	異常あり	(1件)⇒うち死亡件数	(0件)
		無事	(2件)	
	入居者の状況 異常ありの場合の 対応状況	対応あり	(1件)	
		対応なし	(0件)⇒理由	

(3) 要援助者に提供した見守り(1ヶ月に1回以上)の実施状況

実施方法	訪問
延べ実施回数	18回
実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1ヶ月に1回以上見守りを実施した
	実施していない場合の理由

(4) 要援助者に提供した福祉サービスへのつなぎの実施状況

つなぎを行った合計人数		7				
新規につなぎを行った合計回数						
属性(重複可)	自治体		自治体の相談機関		民間事業者等	
	つなぎ先名	新規回数	つなぎ先名	新規回数	つなぎ先名	新規回数
低額所得者		0	基幹相談支援センター	1		0
被災者 (災害から3年以内)		0		0		0
高齢者		0	地域包括支援センター	3	高齢者住まい紹介センター/〇×センター	3
障害者		0	基幹相談支援センター	1		0
子どもを 養育している者		0		0		0
その他住宅確保要配慮者		0		0		0
実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	要援助者に必要なつなぎを実施した				
	<input checked="" type="checkbox"/>	福祉サービスにつなぎが必要がなかった				
	<input type="checkbox"/>	その他				

3 認定住宅入居者(※1)に対する居住安定援助(「2 要援助者に対する居住安定援助(安否確認・見守り・福祉サービスへのつなぎ)」以外の)の年度実績(2025年度)

提供した居住安定援助(「2 要援助者に対する居住安定援助(安否確認・見守り・福祉サービスへのつなぎ)」以外の)の内容(※2)	提供を受けた 認定住宅入居者数	提供を受けた 認定住宅入居者の主な属性(※3)
通院付添	2	高齢者
買い物支援	1	障害者